



コスモスレポート

10

通巻 1050 号 (毎月 5・15・25 日発行) 1989 年 7 月 27 日 第 3 種郵便認可 頒価 1 部 50 円)

編集 社会福祉法人 コスモス広報委員会

〒599-8116 堺市東区野尻町8-4 TEL 072-288-1055 FAX 072-287-1167
E-mail honbu@sakaicosmos.net http://www.sakaicosmos.net/

発行 堺障害者作業所定期刊行物協会

〒590-0142 堺市南区檜尾1382-6 せんぼく障害者作業所内

No.156

2010年10月15日

消費税増税の 論議が危ない

民主党や自民党が、消費税増税を今年の参議院選挙の争点の一つとして言い始めて以降、消費税増税が現実の課題として国会やマスコミで上げられる状況になってきました。国は消費税の増税を早ければ、来年度から実施したいと準備にかかっています。

ねらいは大企業減税

元々、消費税の増税は、大企業の国際競争力の向上を理由に、更なる法人税の減税と企業の社会保障費負担の削減を狙って、大企業から出された要望です。参議院選挙の時は、消費税10%程度という数字が出ていましたが、政府の試算では毎年2%づつ上げて行き最終的に18%まで上げなければならないとも言われています。

言つまでもなく消費税は、所得の低い人ほど負担が大きくなり年金生活世帯や社会的弱者と言われている人には生活の困難さを増す税制度です。10%の増税になれば、4人家族で年間16万円の負担が増えることとなります。

消費税は福祉の財源か？

政府は、増税の理由を主に2つ上げています。一つは、「社会保障や福祉を充実させる」ということ。もう一つは、大幅な赤字財政に陥っている国の「財政の健全化」です。

ここで、気になる事は国民の意識です。7月に行われた朝日新聞の世論調査では、「消費税の増税に賛成」は35%、「反対」は54%です。

しかし、「消費税についての論議を進めた方がいい」は63%、「良くない」は29%しかない事です。

この原因としては、国が今まで財政が大赤字だと言いつつ続けてきたこと(その原因は大型公共事業の乱発でした)が国民の間に浸透している事に加えて、今の年金や医療制度、社会福祉の制度が貧困なため制度が良くなるのであれば、消費税増税もやむを得ないと国民が考え出している事です。

実際、「福祉が良くなるのであれば消費税が上がる事は仕方ない」と言った意見を聞くこともあります。福祉制度を良くするためには、消費税増税しかないのでしょうか。

今、日本の年間の軍事費は5兆円ですが、退役自衛官の軍人恩給や海上保安庁の予算など「隠れ防衛費」を合算すれば8兆円から9兆円になります。(ちなみに、日本の税収は37兆円です)

こういった費用こそ見直すべきではないでしょうか。

あまりにも貧困な社会福祉・社会保障制度を逆手に取っての消費税増税は、絶対に許す事は出来ません。

私達の生活を守るためにも、消費税増税の本質を市民の中に広める事が必要だと思います。

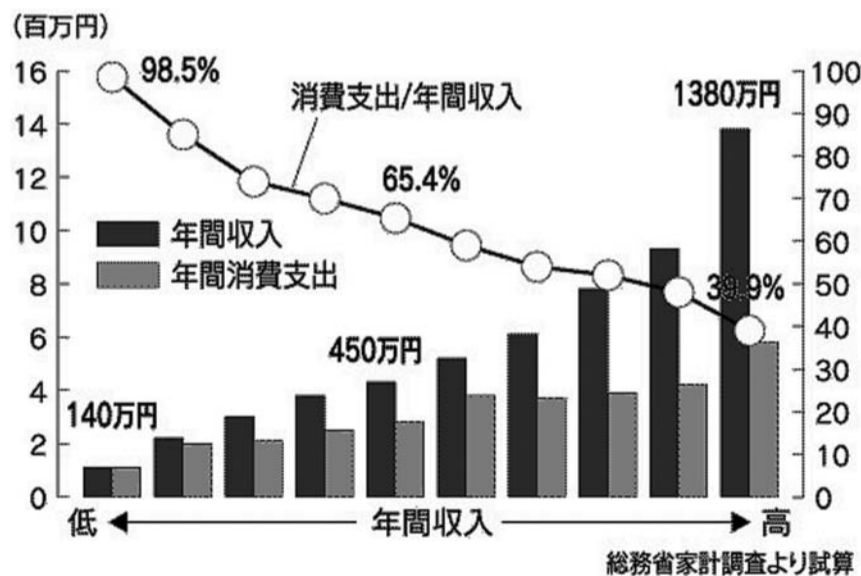
(長井 勝徳)

消費税が導入されても社会保障は悪くなるばかり

	消費税の導入前 1988年	2009年
健保本人の医療費自己負担率	1割	3割
老人医療自己負担	800円/月(外来)	1割または3割/毎回(外来)
国民年金保険料(月額)	7,700円	14,660円
障がい者福祉の自己負担	9割の人は無料(応能負担)	自立支援法実施で原則1割応益負担

(消費税をなくす全国の会 消費税満20年カラーライフより)

年間収入が低い世帯ほど、消費支出の割合が大きい =消費税の負担が大きい



今月の紙面

- 1面 消費税増税の論議が危ない
- 2面~3面 障害者を地域で支える仕組みづくりを
保育園の入所申請が始まります/なかまのコーナー/レシビ
せんぼく合同BWSの取り組み/自走式車椅子の寄贈のお礼
堺西エリアシンポジウムを開催
原田泰治ふるさと心の展と国際絵画展
- 4面

らくがき

今年の夏に
富士山に登って
きました!!

友人からは、
「初めての登
山で富士山は
無理じゃない
か??」などと言われた
りもしたのですが、そんな
言葉を押し切って登っ
てきました。富士山を甘
くみていました..。

登っていくにつれて酸
素も薄くなっていき、岩
場のような道もあり登る
ことに必死でした。
しかし登れば登るほ
ど、景色はとも良く一
気に元氣も回復しまし
た。

8合目の小屋で仮眠
をしてから頂上までいき
御来光を見るツアーだっ
たのですが、朝起きた瞬
間吐き気がし、恐れてい
た「高山病」になってし
まいました..。そのため
頂上に行くことができま
せんでした。御来光を山
小屋から見たのですが、
とてもキレイで感動しま
した。今回は、頂上まで
行けず悔しい思いをしま
したが、またいつか頂上
で御来光を見ることを目
指し再チャレンジしてみ
たいと思います。

(結いの里 丁)

家族依存を抜け出し 障害者を 地域で支える 仕組みづくりを

堺市内の障害者の家族が集まって「堺 障害者（児）の生活の場を考える会」を結成して2年目に入りました。昨年には厚労省との懇談も行い精力的に活動されています。コスモスでも毎月家族が集まって、学習・交流を積み重ねています。

「わが子が安心して暮らすためには何が必要か。」

「今ある制度では何が足りないのか。」学習、意見交換する中で、家族、とりわけ母親がいかに障害を持つわが子のために多くの時間、

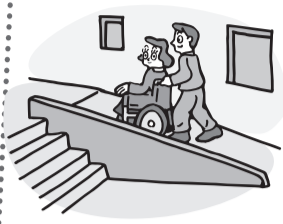
労力をさいているか。その労力に代わりうる支援が今の制度にあるのかが論議されました。あわせて、家族自身が、今の制度を活用することで、制度の改善も提案できるという事も話あわれました。

障害者の家族の視点で、暮らすための支援を考えてみました。

ガイドヘルプ (移動支援事業)

多くの方が余暇を楽しむために利用されています。この事業ができたことで、外へ出かける機会が大きく広がりました。家と作業所の往復だけではない、社会参加のために欠かせない事業です。

現状では、ヘルパーの食費は本人負担、交通費は利用者（障害者）負担となります。なので、一度利用すると3000円〜5000円かかります。家族が出せる間は負担できても、将来、障害年金だけの収入になったら、とても気軽には使えません。男性ヘルパーが少な



また、通勤や通学で利用できないため、家族の送迎負担の軽減にはつながりません。多くの家族が朝夕の送迎時間に縛られる生活を長年送っています。

障害者の移動を家族まかせにせず、もっと公的に保障すべきではないでしょうか。

ショートステイ (短期入所)

家族の病気などによる緊急一時保護、家族のレスパイト（休養）、障害者の体験入所（利用）で使えます。家族からは頼りにされている事業だけに、改善要望も多くあげられています。

現在、堺市内のショートステイ事業所は別表のとおり。所在地、対象者にばらつきがあります。改善要望のトップが「希望する日に利用できない」とです。予約日にはなかなか電話がつかないとの声を多く聞きます。また、送迎してもらえないため利用を諦めている人もいます。

ロングショート（ショートステイを転々と利用している方）が増えているのも大きな問題です。在宅

「希望する日に利用できない」とです。予約日にはなかなか電話がつかないとの声を多く聞きます。また、送迎してもらえないため利用を諦めている人もいます。

■堺市内 短期入所(ショートステイ)事業者

施設名	所在地	対象者			
		身体	知的	児童	精神
じよぶライフだいせん	堺区	○	○		○
特別養護老人ホーム ハートピア堺	堺区	○			
精神障害者生活訓練施設 アンダンテ	堺区				○
堺福泉療護園	西区	○		○	○
ショートステイ うてな	西区	○	○	○	
東光学園 友だちの家	中区	○	○	○	
社会福祉法人 泉嶺ホーム	中区	○	○	○	
コスモス地域福祉活動センター えると	東区	○	○	○	
ピュアアすなる	南区	○	○	○	
パル・茅渚	南区	○	○	○	
ショートステイ 堺あけぼの	南区	○	○	○	
ショートステイ 虹の家	美原区	○	○	○	
特別養護老人ホーム 美原荘	美原区	○			
陵東館長曾根	北区				○

ケアホーム・グループホーム (共同生活援助事業・共同生活介護事業)

家族とはなれて、障害者が自分の暮らしをつくるための制度です。しかし、夜間に人的配置は義務付けられていません。複数配置ができず、責任が一人に重くのしかかります。また、日中は利用者がホームで過ごすことが想定されており、急な病気、高齢になった場合の対応ができません。

ケアホーム、グループホームは家族の高齢化と当事者の自立のため、地域での暮らしを支えるために、人の支援が何より大切です。家族は、ホームでの暮らしを見守りつつ、「いつまでここで暮らせるのか」という不安があります。世話人に定着してほしい、長いスパンでわが子を支援してほしいと家族は願っています。

生活を支える コーデイネーター

サービス利用の予約や調整も大半は家族（主に母親）が行っています。介護保険ではケアマネジャーに当たる役割も家族が担わざるを得ないのが現状です。地域で暮らすためには多くの人の繋がり、サポートとコーデイネーター（各サービスを整え、全体をまとめる）が欠かせません。



旅行について

「旅行はどんな所に行きますか」という質問に対し、「京都や和歌山、USJに行きます」とつぶやいたのが、今度僕も行くことになった。お互いに笑いながら話を聞き、話



ひじきの煮物からのアレンジ

■ ひじきの煮物 作り方

- ①ひじきは水につけて戻し、良く洗いザルにあげておく。
- ②干椎茸も戻し、うすあげは油抜きをして、人参など、すべて千切りにする。
- ③鍋に油を熱し、ひじき→人参→干し椎茸→うすあげの順に加えて炒め、干し椎茸の戻し汁と水を加え（ひたひたまで）人参が柔らかくなるまで炊く。
- ④砂糖、しょうゆで味付けをし、しっかり味を含ませる。

- 材 料(大人5人分)
- ひじき……………25g位
 - 人参……………60g(約半分)
 - 干し椎茸……………10g(3枚)
 - うすあげ……………½枚
 - 砂糖……………15g
 - 醤油……………大さじ1杯

アレンジ①—ひじきご飯
炊きたてのご飯にまぜる。

アレンジ②—白和え
①木綿豆腐は茹でて重しをして水気を切っておく。
②白ゴマ、みそ、砂糖をすり混ぜた物と①を崩したもの、ひじき煮を混ぜて和える。(ほうれん草を茹でた物を加えると見た目も美しい。)

アレンジ③—ひじき卵
卵を割りほぐした中にひじきを入れ、卵焼きを作るように焼く。



▲左上=ひじきご飯、右上=ひじき卵、左下=白和え、右下=ひじきの煮物

—その他にも色々アレンジのきくひじき煮。作る時は、たっぷり作り、少しずつ小分けにして冷凍保存しておけば、とっても便利です。

事例に見る障害者の地域の暮らしの支援と課題

一人ぐらしの地域生活を支えるネットワークづくり



Aさん

- 知的障害
精神科に通院
アルコール依存症

- 重篤な病気
- 10代のころから、飲酒、たばこ、家庭内暴力、アルコール依存症など、荒れた生活のため家族関係は崩壊。
- その後、精神病院へ入院、ホームレスなどを繰り返し、福祉の制度を利用することもなかった。
- 現在は重篤な病気と、アルコール依存症である。

使っているサービス

- ホームヘルパー（買物、調理、掃除など）
- ガイドヘルパー（通院支援）
- 訪問看護（薬の管理、健康のチェック）
- 作業所（就労継続支援B型）
- 権利擁護事業（お金の管理）
- 日中一時支援

現状

支援センターが中心になりネットワークを築いた結果

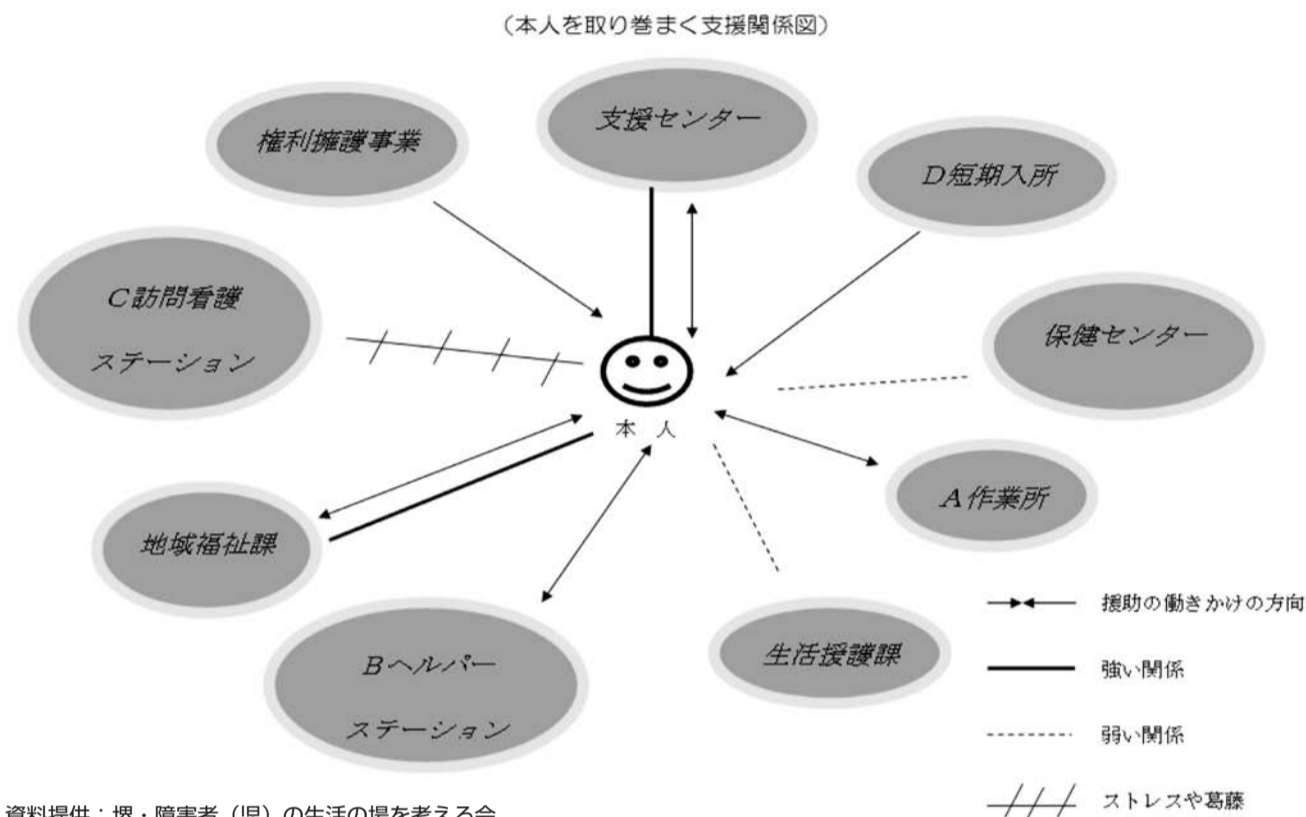
- 地域生活での生活が継続できている。
- たくさんの支援者が、本人にいつまでも健康で生きていてほしい、自分らしい生活をつくってほしいという思いを共有しながら、支援をしてくれている。

まとめ 自ら適切に発信することに困難を持つ障がいのある方の権利を擁護するには、関係機関、支援者が積極的に関わっていくアウトリーチ活動に力を注ぐ必要があります。

しかし、現在、地域で暮らしている障がいを持った方々の生活について、その健康状態や権利侵害などに関するチェック機能、環境との調整を行う機能を持った機関が圧倒的に不足しています。成年後見制度の活用とまではいかないケースであっ

ても、相談援助や一定の権利擁護の立場で本人に寄り添える機関の質・量にわたる充実が望まれます。

支援のネットワークを構築し、支援を継続することは専門的な仕事であり、行政窓口（保健センター、地域福祉課、生活援護課など）、民間窓口（生活支援センターなど）すべてに専門職の配置が欠かせません。また、支援は継続されるべきものであり、スタッフの増員なくして障がいを持つ人がおくる地域生活の質の向上は望めません。

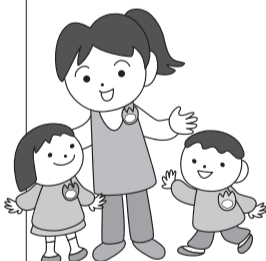


資料提供：堺・障害者（児）の生活の場を考える会

保育園の入所申請が始まります

11月より、2011年4月からの保育園入園の申し込みが始まります。

就労や病気、介護などの理由で保育園に入園することができます。10月より、申込用紙が区役所の地域福祉課や各保育園に置かれています。申し込みは11月1日から20日の間です。昨年度から時期が早くなったので気を付けてください。受付は各区役所保健福祉総合センターまたは子育て支援室です。この間、各保育園にて出張受付も行っています。



また、仕事以外の理由により急に子どもを預かってほしい、という時には緊急一時保育という制度を利用することができます。

申込方法などの詳しいことは堺市のホームページ等で確認してください。

いづみ保育園 ☎ 072-255-7920
 麦の子保育園 ☎ 072-237-6835

コスモス内のいづみ保育園、麦の子保育園は延長保育時間を含め、7:30から19:30までの保育を行っています。両園とも見学ができますので、各園にお問い合わせください。

現在、内閣府では、障害者自立支援法に変わる新しい制度づくりを目指して障がい者制度改革推進会議が開催されています。障害の重い軽いに関わらず、その人が当たり前に生きていくのに必要な支援が受けられる社会になるよう、当事者・関

*堺・障害者（児）の生活の場を考える会では、障害者家族の生活時間の調査を検討されています。同世代の女性に比べ、障害者の母親がどんな生活サイクルを送っているのか調査するものです。

東京海上日動火災・三井住友海上火災代理店
 社会福祉法人コスモス提携代理店

(株)ルーバーファクトリー
 (旧カクタニ総合保険)

〒538-0054 大阪市鶴見区線1-5-6川端ビル212
 TEL06-6935-6694 FAX06-6935-6704

ながまのコーナー

とうぶ作業所自治会インタビュー

取材/かたくら作業所自治会役員

2010年9月7日(火)とうぶ障害者作業所へ取材に行ってきました。「ようこそ、とうぶへ」という歓迎の垂れ幕が飾ってあり、利用者は「すごいな」と驚いていました。お互いに「よろしくお願ひします」とあいさつをして、取材が始まりました。

給料・ボーナス

「給料はどのくらいもらっていますか」という質問に対しては「班によって違いますが、1日1000円もしくは2000円もらっている」と班によって支給額が違う事を教えてもらいました。

「以前のかたぐらの計算方法に似ているな」と感じました。またボーナスは1万円もらいましたという話に「すごいな」と驚きの声がありました。また給料を自分たちで計算していると聞くと「僕たちも頑張らないとあかん」と強く影響を受けた姿が感じられました。

お風呂

「とうぶ作業所にはお風呂がありますか」という質問に対しては「とうぶにはお風呂はありません」と返ってきました。「とうぶ作業所にもお風呂があったらみんな気持ちよく入れるなあ」と取材へ行った利用者の皆さんは思ったそうです。

全体会

「とうぶ作業所では、毎月第一水曜日に全体会が行われます。」とうぶ作業所では作業班の自主製品の1ヶ月の売り上げなどの表を皆が見る事が出来るように食堂の壁に貼っていました。「発表した紙をかたくらでも貼りたいなあ」と話が出て、来月から実行出来ればと張り切っています。

車椅子

「車椅子の仲間は何人いますか」という質問に対しては、「とうぶ作業所は6人の車椅子の仲間がいます」と言っていました。「かたくらよりは少ないな」と感じた人が多かったようです。

とうぶ作業所に行くと

「良かった、特に旅行の話で盛り上がったのが良かった」と喜びの声を聞く事が出来ました。また「ポケットリフやあまから班など作業所の見学をしてみたい」といった話が出ました。

同じ法人内でも作業所によって違いがあるという事がよくわかった取材になり、やはり仲間同士が交流する事で強く影響した事、そしてもっと頑張らないといけないという意欲に結びついたのではないかと取材を通して感じました。

盛り上がりました。

堺の福祉をすすめるコスモス後援会 ご協力ありがとうございました

新たに会員になっていただいた方、更新いただいた方

- | | | | |
|---------|--------------------|---------|---------|
| 泉 博 様 | 工藤 大樹 様 | 中条 道子 様 | 本多 和子 様 |
| 伊藤 勇 様 | 久米 玲史 様 | 西川 幸子 様 | 松尾 貴廣 様 |
| 井上 庚 様 | 佐伯 洋 様 | 西部真由美 様 | 松島 勝彦 様 |
| 今井 綾子 様 | 坂本 浩一 様 | 西森 初代 様 | 松本 愛 様 |
| 今里 光治 様 | 笹部 修一 様 | 野村 真希 様 | 宮脇 英昭 様 |
| 岩橋 佐和 様 | 澤田亜紀子 様 | 早内 瑛美 様 | 森田きよ子 様 |
| 上村真由子 様 | 杉山千恵子 様 | 檀田 良子 様 | 安里 恵子 様 |
| 内田 幸雄 様 | 辻 佐知子 様 | 平川 紀成 様 | 山口 香名 様 |
| 岡本千佐美 様 | 土田 瑛育 様 | 藤枝 道子 様 | 米田 大志 様 |
| 岡本美樹雄 様 | 鳥居 茉知 様 | 藤田貴美恵 様 | 渡辺由起子 様 |
| 梶原 伊吹 様 | 中條 義昭 様 | 本庄 勝美 様 | |
| 加藤 禎子 様 | | | |
| 河村 慶太 様 | (有)建設コープ事業プロジェクト 様 | | |

寄付・寄贈・その他御協力いただいた方

- 〈おおはま〉とうぶ作業所様よりスチールなど
家族様よりバザー用品多数
志知 様 児玉 様 尾崎 様 山本 様
- 〈ほくぶ〉佐々木光世様 アサカ食品様
- 〈本部えと〉大橋 智子 様 倉橋みち子 様 橋谷 和夫 様
大林 正一 様 小林 吉秋 様 小林 典子 様
北山富士夫 様 杉山 和良 様 双葉不動産 寺島 猛 様

8月のアルミ缶回収の実績報告

- せんぼく 233,000円
 - おおはま 82,180円
 - とうぶ 133,300円
 - ほくぶ 223,000円
 - かたくら 140,550円
- おおはまスチール
●5,060円



*振込口座は下記の通りです。(郵便局から送金できます)
口座番号 00900-9-106044
口座名義 コスモス後援会
*この欄は、毎月20日を締め日として掲載させていただいています。

せんぼく 合同BWSの取り組み



9月15日(水) ファインプラザで合同BWS(ボディワークセラピー)を行いました。広い体育館で運動が苦手な人もフライングディスクで思わぬ力も発揮され、主役になれる人がたくさんでました。日頃一緒に仕事ができない人たちとも一緒に交流しながら楽しめるのもこの取り組みならではです。

新入所の利用者の抜群の運動神経で見事に3重の輪の中を通過した瞬間を見て下さい。

自走式車椅子の寄贈のお礼



国際ロータリー第2640地区
堺フェニックススロータリークラブ
会長 片木 修 様

国際ロータリー第2640地区の地区大会ホストクラブとして運営されるにあたり社会貢献の一環として堺市内障害者福祉施設に自走式車椅子の寄贈が行われました。

コスモス地域福祉活動センターえるとにも2台ご寄贈いただきました。ありがとうございました。大切に使用させていただきます。

秋の行事案内

秋は各事業所でイベントを行います。
お誘い合わせの上、お出掛け下さい。

11月14日(日) 10:00~15:00	おおはまフェスタ	おおはま障害者作業所 お問い合わせ 072-224-1919
11月20日(土) 10:00~15:00	ちよっくらわくわくまつり ※南区の作業所等が集まっておこなっています	泉が丘駅噴水前 お問い合わせ 072-296-4520
11月20日(土) 10:00~14:00	とうぶまつり	堺東部障害者作業所 お問い合わせ 072-237-2635
11月21日(日) 10:00~15:00	えるとまつり	総合生活支援センターえると お問い合わせ 072-288-1050
11月21日(日) 10:00~12:30	麦の子あきまつり(仮称)	西野公園(麦の子保育園隣) お問い合わせ 072-237-6835

行事案内 コスモス

「ふるさとの心」展と国際絵画展



原田 泰治 展と

日頃より、コスモスの事業を支えて頂いている皆様への感謝を込めて絵画展を企画しています。

原田泰治氏はじめ国内外の人気作家の作品に触れていただくこととあわせ、コスモス利用者の作品や作業所製品も展示、販売いたします。皆様のご来場をお待ちしております。

と き 11月27日(土)・28日(日)・29日(月)
10:00~18:00

ところ 堺市産業振興センター
5階 コンベンションホール
南海高野線「中舌鳥駅」、
地下鉄御堂筋線「なかもず駅」より約300m

主催/コスモス「原田泰治ふるさとの心展と国際絵画展」実行委員会



堺西エリアシンポジウムを開催

9月18日(土) 18時~20時、老人デイサービスセンター結いの里にて開催しました。

壮年期、高齢期の障害のある人たちの生活実態を知り、課題を共有しようと取り組みました。当日はおおはま障害者作業所、支援センターおおはま、ケアホームえると、在宅介護支援センター結いの里から報告を受け、ワークショップをおこないました。参加者からは「障害を持つ人たちの高齢化について考えるよい機会になった」との感想が寄せられました。今回の取り組みは、地域住民や行政と連携しながら避けては通れない加齢という問題に向き合っていく第一歩となりました。

